

都市経営室に「システム・コンサルティング機能」を！

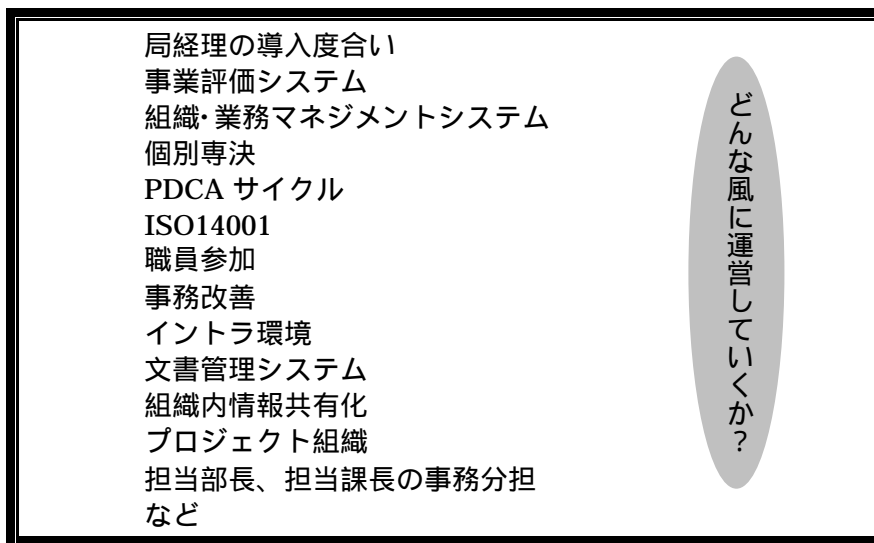
～原局におけるシステム・ユーティリティーを高めるために～

どう使いこなして良いのか...原局は困っている！

「システム・コンサルティング事業」

システム開発から普及・実践へ

都市経営室の担当者が各管理部門の局担当とチームを組み、原局のコンサルタントとして、複雑多岐なシステムををコーディネートし、ノウハウを蓄積していく。



現状における取扱のバラツキ

局内の裁量で決定できるものが多いが、実際、運用されていないものも多い。

(例：局経理、個別専決、担当部長の事務分担など)

各システムの運用方法がまちまちであるため、システム管理者が各ツールを使いこなしていない。機能的に再構築していく必要がある。

より効果的な活用のために

イントラ、ローカルサーバを活用した情報インフラの構築

管理部門からの総合的指針(収集したノウハウの再構築・再配信)

真の原局主義へ

担当者は原局のキーマンと十分にコミュニケーションを取り、原局の事情を加味したシステムのカスタマイズを行う。サービス提供者は原局であり、「原局にとって使い勝手がよく、役に立つ」システムサポートが市民の利益につながる。